

公益財団法人JKA 競輪補助事業による
平成30年度「障害者グループホームの建築」補助事業 自己評価

補助事業に係る自己評価を行いましたので、下記のとおり公表します。

日時 平成31年4月19日（金）10:00から
場所 社会福祉法人くすの木福祉事業会 つつじ寮会議室
会議名 地域生活支援会議
参加者 管理者4名、サービス管理責任者5名、相談支援専門員1名、法人事務局1名

補助事業担当者より事業報告と、達成状況、具体的内容等の説明を行い、評価基準に基づいて参加者全員で採点を行った。（最高点は5点）

1. 事業内容

障害者グループホーム（定員 男性5名・女性5名 木造平屋建て）の新築工事を行い、一部図面変更があったがその他は計画どおり完成した。（4点）

2. 達成目標

平成31年4月から定員10名のグループホームを、目標どおり開始した。（4点）

3. 情報発信

法人機関誌への掲載を予定していたが事業完了後直近の発行が8月であるため、未達成となったものの、地元新聞（蒲郡新聞）へ掲載していただき、平成31年3月25日に開所式を挙行した。法人ホームページへの進捗状況の掲載については、4回の計画を大きく上回り15回掲載した。（4点）

4. 自己評価の体制

自己評価1回目となる本会議が、ご利用者や第三者の参加に至らなかったため、2回目の自己評価時にはご利用者、保護者、福祉課職員等を交えて実施する予定。（3点）

5. 総合評価

計画変更や、グループホーム開始に向けて職員確保等に困難を極めたが、事業全体は概ね計画どおり完了した。また、今回図面変更は介助時を想定し、トイレスペースの拡充を行った結果、法人内のグループホームとしては初めて車いす生活の方に入居していただくことができた。建設地付近の住民の方にも、棟上式の後に行った餅投げに多数ご参加いただくなど、工事中も理解を得ながら進められたと考えている。今後も地域と良好な関係を保ちたい。

法人としては、本事業によりグループホーム50名構想が達成できた。しかし、まだ20名ほどの入居希望があり、中古で取得した物件の建替えも今後の課題となっている。（4点）

報告者 法人事務局 塩月由香